



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 合同製鐵株式会社

上場取引所 東

コード番号 5410 URL <http://www.godo-steel.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 明賀 孝仁

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長兼経理部長 (氏名) 内田 洋

TEL 06-6343-7600

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	93,160	29.0	1,664	19.1	2,008	19.6	1,765	4.1
29年3月期第3四半期	72,225	6.9	2,058	36.0	2,498	37.4	1,840	48.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 2,760百万円 (37.3%) 29年3月期第3四半期 4,404百万円 (11.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	120.67	
29年3月期第3四半期	122.14	

平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	176,470	87,408	49.2
29年3月期	159,450	85,173	53.0

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 86,797百万円 29年3月期 84,582百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		2.00		20.00	
30年3月期		15.00			
30年3月期(予想)				65.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しており、平成29年3月期の年間配当金の合計は「-」として記載しております(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成29年3月期の年間配当金の合計は1株につき40円)。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	28.7	1,300	44.4	1,600	42.1	4,600	132.3	314.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	17,145,211 株	29年3月期	17,145,211 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	2,513,988 株	29年3月期	2,513,213 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,631,632 株	29年3月期3Q	15,069,511 株

平成28年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来予測情報の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている将来に関する記述には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
3. その他	8
(1) 生産実績(単独・連結)	8
(2) 販売実績(単独)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用環境の改善や個人消費の持ち直しの動きが広がり、また、企業活動においても総じて持ち直しの動きを維持するなど、緩やかな回復基調が継続しております。また、海外経済においても、米国の保護主義的な各種政策の実施による景況への影響が懸念されるものの、雇用情勢の安定を背景に概ね堅調に推移しております。

普通鋼電炉業界におきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連需要も出始め、老朽化した社会資本への対応や自然災害対策の需要もあるなど、国内の建設需要は概ね堅調に推移しております。一方、中国の景気回復を背景に鉄スクラップ価格、エネルギー価格、合金鉄などの副原料、電極・耐火物などが高騰しており、コスト面で厳しい状況が続いております。

こうしたなか、当社グループにおきましては、全国に5つの製造拠点をもつ事業所体制の下、グループの製造・販売・購買が一体となって販売、購買環境や生産条件などの変化を迅速に捉えながら、需要見合いの生産に徹することで再生産可能な販売価格の実現に努めてまいりました。

その結果、当社の鋼材販売数量が前年同四半期比6万7千トン増加の79万1千トンになったことに加え、鋼材販売価格が前年同四半期比トン当たり7千8百円上昇したことにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は前年同四半期比209億35百万円の増収の931億60百万円となりました。

また、主原料の鉄スクラップ価格が大幅に上昇するなか、販売価格の値上げを実施したものの、出荷価格への反映の遅れもあり、営業利益は前年同四半期比3億93百万円減益の16億64百万円、経常利益は前年同四半期比4億90百万円減益の20億8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同四半期比75百万円減益の17億65百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、期末休日や増加運転資金の影響による受取手形及び売掛金の増加(136億91百万円)等により、前期末(1,594億50百万円)から170億20百万円増加し、1,764億70百万円となりました。

負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加(96億4百万円)や短期借入金の増加(71億65百万円)等により前期末(742億76百万円)から147億85百万円増加し、890億61百万円となりました。

純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上(17億65百万円)や配当金の支払(5億12百万円)、その他有価証券評価差額金の増加(10億2百万円)等により前期末(851億73百万円)から22億34百万円増加し、874億8百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の53.0%から49.2%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期通期の業績につきましては、東京オリンピック・パラリンピック関連需要も出始めるなど、国内の建設関連の鉄鋼需要の高まりによる出荷数量の増加、販売価格の上昇により増収を見込んでおります。一方、中国、新興国の景気の回復により、昨年の秋以降に主原料である鉄スクラップ価格、合金鉄などの副原料価格が急激に上昇しており、製造コストが大幅に上昇しております。販売価格の値上げを実施しましたが、出荷価格への反映の遅れもあり、メタルスプレッドが当初計画よりも縮小することから、通期の利益水準が前回公表(平成29年11月1日)の予想を下回る見通しとなりました。詳細につきましては、本日開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,023	3,927
受取手形及び売掛金	32,670	46,362
たな卸資産	20,431	23,896
その他	1,441	975
流動資産合計	58,567	75,162
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,084	10,986
機械装置及び運搬具(純額)	15,115	14,920
土地	50,737	50,334
その他(純額)	859	607
有形固定資産合計	77,797	76,849
無形固定資産	478	629
投資その他の資産		
投資有価証券	19,377	20,697
その他	3,300	3,202
貸倒引当金	△70	△69
投資その他の資産合計	22,607	23,829
固定資産合計	100,882	101,308
資産合計	159,450	176,470
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,207	25,811
短期借入金	18,574	25,740
未払法人税等	347	174
賞与引当金	1,240	666
環境対策引当金	83	83
その他	5,732	7,007
流動負債合計	42,185	59,484
固定負債		
長期借入金	17,539	14,627
役員退職慰労引当金	123	113
環境対策引当金	353	291
退職給付に係る負債	4,307	4,369
その他	9,766	10,175
固定負債合計	32,090	29,577
負債合計	74,276	89,061

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	34,896	34,896
資本剰余金	13,005	13,005
利益剰余金	35,409	35,976
自己株式	△4,707	△4,708
株主資本合計	78,604	79,169
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,473	3,475
繰延ヘッジ損益	△0	△115
土地再評価差額金	3,820	4,507
退職給付に係る調整累計額	△314	△239
その他の包括利益累計額合計	5,978	7,628
非支配株主持分	591	611
純資産合計	85,173	87,408
負債純資産合計	159,450	176,470

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	72,225	93,160
売上原価	62,219	82,773
売上総利益	10,005	10,387
販売費及び一般管理費	7,946	8,723
営業利益	2,058	1,664
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	317	308
受取賃貸料	235	226
持分法による投資利益	127	18
その他	62	40
営業外収益合計	744	594
営業外費用		
支払利息	189	172
その他	113	77
営業外費用合計	303	250
経常利益	2,498	2,008
特別利益		
固定資産売却益	27	260
投資有価証券売却益	14	26
特別利益合計	41	286
特別損失		
固定資産除却損	84	162
設備休止関連損失	—	61
従業員弔慰金	90	—
その他	—	11
特別損失合計	174	235
税金等調整前四半期純利益	2,366	2,059
法人税等	487	265
四半期純利益	1,878	1,794
非支配株主に帰属する四半期純利益	37	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,840	1,765

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	1,878	1,794
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,459	1,005
繰延ヘッジ損益	0	△114
退職給付に係る調整額	66	74
その他の包括利益合計	2,526	965
四半期包括利益	4,404	2,760
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,365	2,728
非支配株主に係る四半期包括利益	38	31

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産実績(単独・連結)

品目	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減
粗鋼 (単独)	726 千t	911 千t	+185 千t
(連結)	1,098 千t	1,316 千t	+218 千t
鋼材 (単独)	701 千t	780 千t	+79 千t
(連結)	1,015 千t	1,085 千t	+70 千t

(2) 販売実績(単独)

品目	項目	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減
鋼材	数量	724 千t	791 千t	+67 千t
	(単価)	(57.2 千円)	(65.0 千円)	(+7.8 千円)
	金額	41,357 百万円	51,444 百万円	+10,087 百万円
その他	金額	1,199 百万円	5,632 百万円	+4,432 百万円
合計	金額	42,557 百万円	57,077 百万円	+14,519 百万円
(内、輸出)		(1,133 百万円)	(5,343 百万円)	(+4,209 百万円)

(参考:連結)

品目	項目	前第3四半期累計期間	当第3四半期累計期間	増減
鋼材	数量	1,033 千t	1,094 千t	+61 千t